

宇治市環境保全審議会議事要旨

会議名	令和5年度第2回宇治市環境保全審議会
日時	令和5年11月15日(水) 15時~16時10分
場所	産業会館1F 多目的ホール
出席者	委員 松良会長、松原委員、古島委員、中川委員、鳥居委員、居原田委員、魚住委員、中村委員、角谷委員、太田委員、吉田委員 事務局 前田人権環境部副部長、吉田環境企画課長、井上副課長、齋藤地球温暖化対策係長、中尾主任、安田主任 傍聴者 記者1人
1 開会	
2 挨拶	
3 報告事項	環境保全審議会専門部会における審議内容について専門部会会長から報告
4 審議事項	(仮称)宇治市第3次環境保全計画(宇治市地球温暖化対策地域推進計画含む)の素案について、事務局から専門部会での意見及び素案について説明
【主な意見・質疑応答】	
(委員)	CO2の2は小さい2に修正されたい。また、P26の8行目の「広報誌 すすめ eco ット宇治」は宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議、愛称eco ット宇治が年4回発行する広報誌であるが、P85市の取組の「広報誌等を通じて」の広報誌は、市政だよりか eco ット宇治の広報誌か、どちらを指すのか。言い回しを明確にした方がよい。
(事務局)	ご意見を踏まえ、書き方を検討する。
(委員)	P38 施策の方針1の「脱炭素のまちをつくる」との表現には違和感がある。テレビ番組やニュースでも脱炭素をすると言っているが、実際は2050年にはできないかもしれないが目指す、と言っていることが多いのではないかと。宇治市で実現できるのか疑問である。つくることを目指すと書いた方がよいのではないかと。
(事務局)	2050年ゼロカーボンにはハードルが高い目標だが、今回、3回の専門部会でご審議いただ

宇治市環境保全審議会議事要旨

いた意見を踏まえ、「脱炭素のまちをつくる」という表現とした。

(委員)

部会で議論していた立場から補足する。世界的に台風や豪雨などが発生しており、様々なデータに基づき推測すると気候変動は急速に進んでいる。達成は非常に困難だとは思いますが、達成できないと災害が増え、これを復旧するために膨大なコストがかかるようになる。国連の事務総長が地球沸騰化の時代と発言したように、現実の気候変動を見ると、そういうことが起こり得るのではないかと思われる。できないのではないか、という意識のまま推移すると被害が出て大変なことになると我々は考えている。

(事務局)

市も強い決意を持って取り組みたく、この表現とした。

(事務局)

市民の取組や事業者の取組は、これまでの計画では「～しましょう」という表現を使っていた。しかし、今回は逼迫した状況を知ってもらうことが重要であるため、「～努めます」、「検討します」という表現にして、当事者意識を持ってもらおうと考えた経過がある。「脱炭素のまちをつくる」についても、これまでであれば目指していただけだが、「つくる」という方向性を持って表現している。

(委員)

農地の保全等によって脱炭素に取り組むというのはどのようなことか。

(事務局)

ここで言う森林や農地等の緑地の保全とは、主に森林が温室効果ガスの吸収源であることを想定している。

(事務局)

経済活動と環境の保全は相反するものと考えられがちだが、SDGsなど持続可能であるということは経済活動も合わせて進めることが前提となる。表現方法は検討する。

(委員)

P44市の取組に「今後更新する公用車は電気自動車を目指す」とあり、取組指標にも電気自動車に関する項目があるが、市の公用車も令和15年度までに50%を目指すということではよいか。

(事務局)

P45 の取組指標は夏に実施した市民アンケートの結果である。アンケートでは、次世代自動車として電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車を合わせた導入状況を調査しており、目標値を50%としている。また、この計画は市民・事業者に向けた計画であるので、公用車の電気自動車化はこの取組指標とは異なる。

(委員)

市民や事業者には求めるが、市は別だという認識でよいのか。

(事務局)

市は一事業者として事務事業に関する別の計画を定めており、今、計画を策定中である。公用車についても、年度を定めて可能な限り電気自動車化を進めるべく検討している。あくまでも、ここに記載しているのは市民・事業者の方についての普及率と考えている。

(委員)

人に求めるときは、まず隗より始めよと言う。市は今年度10数台の軽自動車を買っているが、電気自動車は買っていないのではないか。また、P38市民や事業者の取組には、移動の際は自転車を使え、長距離の場合は電車やバス等の積極的な利用に努めますなどがあるが、当然、市の職員もこういう取組みをするのか。

(事務局)

当然、市でも率先して取り組む。

(委員)

公用自転車がどれくらい増えたかは、また確認する。次に、ごみについて、城南衛生管理組合もCO₂の削減として一定目標を立てている。城南衛管で減らしたCO₂のうち、宇治市の寄与分はどれくらいか。また、それは宇治市の削減分に含まれるのか。

(事務局)

城南衛管は各市町村のリサイクル率等を出していると思うが、計画には反映していない。

(委員)

減らしすぎて困るものではないので、城南衛管でも宇治市でも減ったというのは良い。しかし、ライフスタイルの見直しや省エネの積み重ねでは達成できず、根本的に変えていく必要があると言うならシビアにやってほしい。P66基本施策に「有料ごみ袋制の検討」とある。他市町では珍しくはないが、有料ごみ袋を導入すればごみがどれくらい減るのか。市民に一定の負担を求めることになるので、全国の平均値でもよいので効果が知りたい。

宇治市環境保全審議会議事要旨

(事務局)

資料を持ち合わせていない。

(委員)

そういう点が重要である。P50では環境省が宅配を1回で受け取ると削減される CO₂ を具体的に出しているの、有料ゴミ袋の効果についての数字も出してほしい。

(委員)

P41市の取組の中で、「市有施設や市遊休地へ再生可能エネルギー発電設備施設とともに蓄電池を導入し」とあるが、具体的なイメージがあるのか。

(事務局)

今、具体的なものはない。

(委員)

絵に描いた餅になりかねないのではないかと。これまで、このような議論は出ていない。例えば市の持っている土地に太陽光パネルを設置すると、市の条例との関連はどうなるのか。森林の活用についても書かれているが、宇治市では林業整備は難しいのが現状である。この計画を作るために、他部署との横断的なプロジェクトを作っていると思うが、個々の施策や課題と整合がとれているのか。

(事務局)

横断的な脱炭素に関するプロジェクトチームを昨年度から作っており、事務局として各部署が脱炭素に向けて施策に取り組むよう伝えている。木材をどのように利用していくか、森林の整備をどうするかなどについては計画策定後、さらに詰めていきたい。

(委員)

計画であるので、できなくても良いということはない。できる計画でないと作る意味がない。専門部会では他部署や他の施策との整合性について意見は出なかったのか。

(事務局)

専門部会でもご指摘や予算面についての質問があった。また、そういう点を変えていくべきであるとの意見もいただいた。脱炭素の取組をどのように進めていくかについて、今後さらに強く発信し各部署の取組に脱炭素を絡めていきたい。

(事務局)

市有施設、遊休地については、国のロードマップに示された「公共施設における再生可能エ

宇治市環境保全審議会議事要旨

エネルギーの利用促進」が各自治体に下りている。市の公共施設をどうしていくか、どの施設を再生可能エネルギーの拠点にするかなどは、現在、具体的に決まってはいるが、目標年度などを検討しており、絵に描いた餅にならないようにしっかり予算立てをして進めたい。

(事務局)

来年度は計画初年度になるため、しっかり予算立てをすべく内部で進めている。災害の発生など気候変動の逼迫した状況がある中で、方針を強く打ち出していく必要があるという専門部会の意見も踏まえて進めている。

(委員)

脱炭素の取組はスティックに何かを我慢するのではなく、経済が活性化するイメージがないと進まない。他の自治体では化石燃料や天然ガスの購入額を算出しており、福知山市で年間123億円、久御山町で59億円であると聞いている。これは各事業所や家庭が国外から石油等を購入した金額という意味である。仮に宇治市内で太陽光や風力による発電ができれば、おそらく数十億円から数百億円が市内で使われ、税金などとして市に入る。農地であれば営農型ソーラー発電があり、作物を作りながら、上部に太陽光パネルをつけて売電収入が得られる。専門部会ではこうした意見が交わされていた。2030年や2050年には、油や石炭を燃やすことなく、クリーンなエネルギーが収入に繋がり、宇治市の経済が発展する。こういうイメージが持てるとポジティブな議論になる。

(委員)

専門部会の議論は理解したが、それを具現化するときの整合性が分かりにくい。これまで議論がなかったものが今回突然入った部分が多くあるので、いかに分かりやすく見せるかが市の腕の見せ所である。次回の審議会では深まった内容を聞きたい。

(委員)

基本目標4「自然文化が共生する豊かな都市環境の保全」に、生物多様性が謳われている。外来種と書かれているのは、特定外来種を指しているのか。生態系の破壊という点では、外来種だけでなく鹿の害などが多く出ている。森林であれば、鹿が下草を食べたり木の皮を剥いたりして木が枯れるということが起こっているため、計画に盛り込んではどうか。

(事務局)

これは、特定外来生物をイメージしている。鹿の害等については検討したい。

(委員)

この計画は、他の市町村と比べて良い点はあるのか。他所と同じようなものか。

宇治市環境保全審議会議事要旨

(委員)

まだ、未発表であるので、素案についての評価は収集できない。

(事務局)

他の市町村の計画を見ているが、他と比べても遜色のないものと考えている。P77に「恵まれた歴史・文化や文化財などの重要性への理解を深め」とあるように、宇治市らしさである歴史文化、巨椋池干拓地などが盛り込まれた保全計画となっている。

(委員)

温暖化対策に関する計画は様々あるが、比較的小規模な地方自治体で作る環境保全に関する計画で、これだけのボリュームのものはあまりないのではないか。

(委員)

再生可能エネルギーに関して、自宅に太陽光パネルを設置して自分で消費する分は分かるが、業者が設置した太陽光発電によるCO₂削減量は宇治市でカウントできるのか。

(事務局)

宇治市のCO₂の排出量にすぐ反映するかと言うと、案分など計算方法が様々あるので、直接反映するものではない。

(事務局)

どこの化石燃料が再生可能エネルギーに置き換わるかである。

(委員)

宇治市で森林を切り開いて太陽光発電を作っても、直接反映しないということか。自宅や工場にパネルを設置するものに市が補助するのは理解できるが、売電自体を目的とするものがカウントされるなら、そういう事業者にも補助金を出すことになるかと思い質問した。

5 閉会